

## はじめに

本市におきましては「第2次川崎市教育振興基本計画かわさき教育プラン第3期実施計画」が最終年度を迎えました。これまで、基本理念である「夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く」の具現化を目指し、学習指導要領の確実な実施、GIGAスクール構想の着実な発展、子どもの多様化するニーズへの適切な対応など、数多くの教育施策を積み重ねてまいりました。現在、その成果を総括するとともに、新たな教育プランに向けて歩みを進めているところであります。

川崎市総合教育センターは、設立以来、教育課題の多様化・複雑化を踏まえ、川崎の教育の創造と発展に資する調査研究を重ねてまいりました。令和7年度につきましても、令和2年度より継続する「自己実現を図り、持続可能な社会を創る資質・能力の育成」を実践研究主題に掲げ、児童生徒が自己肯定感を育み、自らの可能性に挑戦しながら豊かな人生を切り拓くとともに、多様性を尊重し、共生・協働の精神を育み、持続可能な社会を創造し、その一員として主体的に参画するための資質・能力の育成を目指してまいりました。

本紀要は、川崎市立学校から1年間派遣され研究に専念する長期研究員、学校現場での勤務と両立しながら研究を進める各研究会議の研究員が、当センターの指導主事と緊密に連携して取り組んだ成果を取りまとめたものです。いずれの研究も、学校現場の実情に根ざしつつ、理論と実践を往還させながら体系的に考察を深めたものであり、教育の現状と課題に応える研究となっております。

急速な社会の変化と将来の予測が困難な時代にあって、教育の方向性を確かにし、教育施策をより豊かなものとするためには、教育研究所として、学校現場の情報を丹念に収集し、理論と実践の往還による体系的な分析・考察を行うことが、これまで以上に重要であると考えております。本研究が、今後の本市教育のさらなる発展を支え、より良い教育活動の推進に寄与することを心から願っております。

結びにあたり、各研究にご指導・ご助言を賜りました川崎市総合教育センター専門員の皆様をはじめ、ご協力をいただいたすべての皆様に厚く御礼申しあげます。

令和8（2026）年3月  
川崎市総合教育センター  
所長 大野 恵美